

次期固定翼哨戒機（XP-1）の性能確認試験

○菅野 慎輔*1 平野 篤*2 岡崎 智春*3 松井 弘樹*3 塚田 健雄*4

アピールポイント

- 最新鋭の固定翼哨戒機を開発
- 多岐に渡る試験評価を長期間かけて行う大規模な試験を安全かつ成功裏に完了

試験のねらい

次期固定翼哨戒機（XP-1）は、P-3C の後継機として、2010 年代以降、我が国周辺海域における常統的な広域の警戒監視及び哨戒に使用する固定翼の哨戒機である。XP-1 の性能確認試験は、その開発の最終段階で、XP-1 が要求される性能を有することを確認するために行った。

試験内容

平成 13 年度に開発がスタートした XP-1 は、高速巡航と低速哨戒を両立する機体形状、低燃費／低騒音を実現するエンジン、高い能力を持つ各種センサ・システムとこれらを接続する戦闘指揮システムからなるミッション・システムを搭載した最新鋭の固定翼哨戒機である。

XP-1 の性能確認試験では以下の各種試験を実施した。

- (1) 強度試験 : 機体構造が所要の強度を有することを確認する。
- (2) 飛行試験 : XP-1 の性能が設計に適合するか否かを確認する。
- (3) エンジン試験 : 地上において、エンジンの機能・性能等を確認する。
- (4) REWS*試験 : 地上において、レーダの機能・性能を確認する。

(※REWS:レーダ電子戦シミュレータ)

これらの結果、XP-1 が要求される性能を有することを確認した。



図 1 試作 1 号機（飛行試験機）



図 2 全機静強度試験機

*1 航空装備研究所システム研究部 航空機システム研究室
*2 航空装備研究所システム研究部 エンジンシステム研究室
*3 航空装備研究所航空機技術研究部 航空機構造研究室
*4 電子装備研究所システム研究部 電子戦システム研究室